

保護者の皆様

石巻市立大谷地小学校
校長 鹿野 宏 美

「令和3年度 学校改善のためのアンケート」の結果について

啓塾の候、保護者の皆様にはますます御健勝のこととお喜び申し上げます。また、日頃より、本校の教育活動に対しまして御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

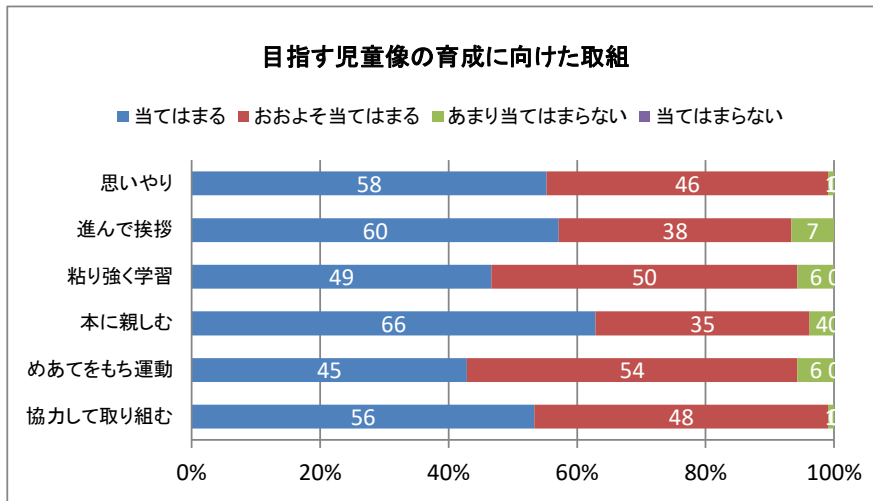
さて、2月に「教育活動に関するアンケート」をお願いしましたところ、児童数の87.5%、105名の皆様に御回答いただき、誠にありがとうございました。集計がまとまりましたので、御報告いたします。アンケートを実施した結果、「あてはまる」「おおよそあてはまる」とお答えいただいた項目が多く、おおむね本校の教育活動に御理解をいただいていることが分かりました。

このアンケート結果を踏まえ、来年度に向けてより一層教育活動の充実に力を入れていきたいと思っております。

※ 以下のグラフは回答した人数を表しています。

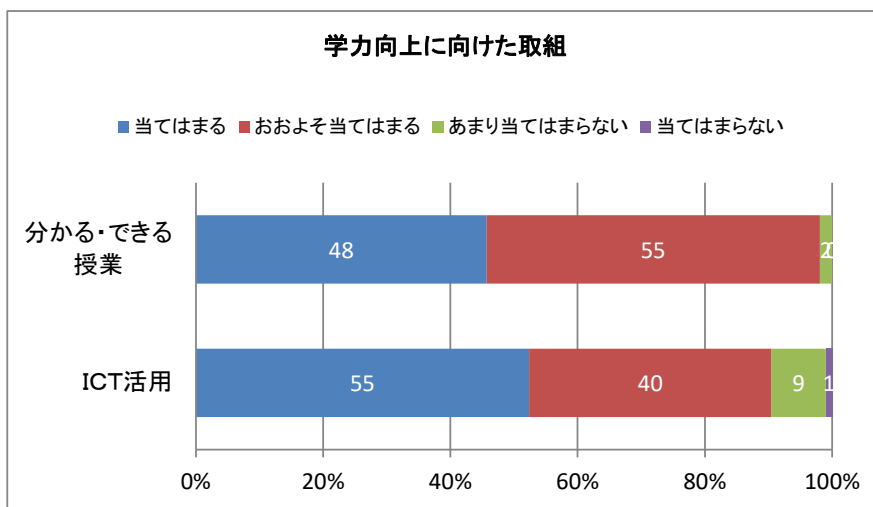
【目指す児童像の育成】

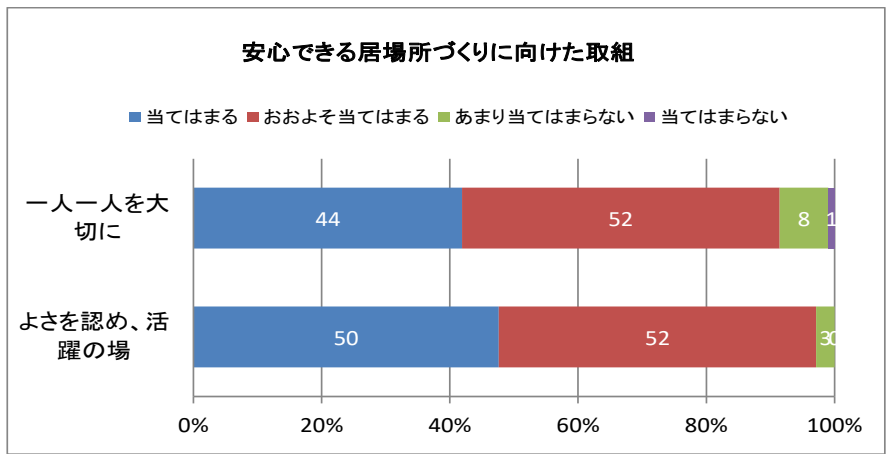
9割以上の方に高い評価をいただきました。特に、異年齢集団での活動を通して育まれた思いやりのある態度や行動へのコメントが多かったです。また、図書館教育に関わる様々な活動によって貸出冊数が年間目標を大きく超えたことから、本に親しむ児童が増えたことが評価されました。元気さに加えて気持ちを込めた挨拶があふれる大谷地小を目指していきたいと思っております。



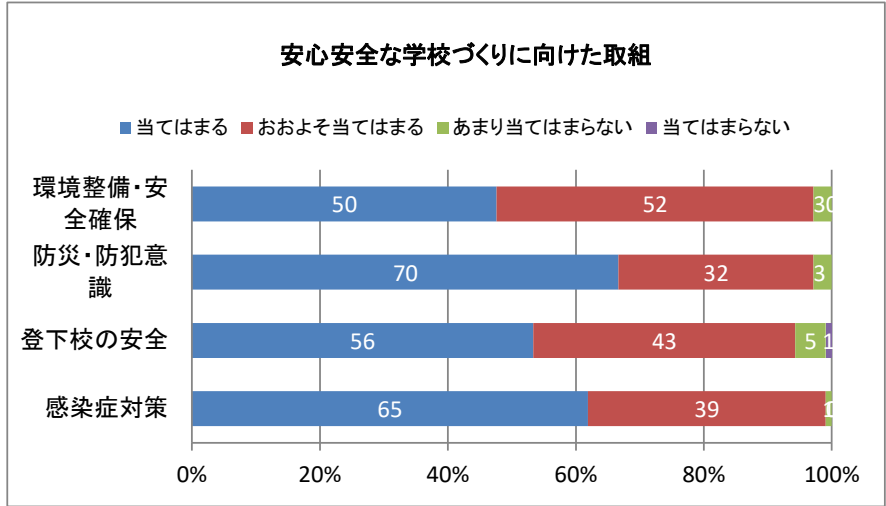
【学力向上】

児童同士が考えを交流し、深い学びにつながるように授業改善を行ってきたことで、高い評価となりました。今後も書きぞめ等の日本の伝統に触れたり、授業と家庭学習とのつながりを大切にしたりして学びの幅を広げるとともに、一人1台のタブレットの活用を図りながら学力の向上に努めていきたいと思っております。

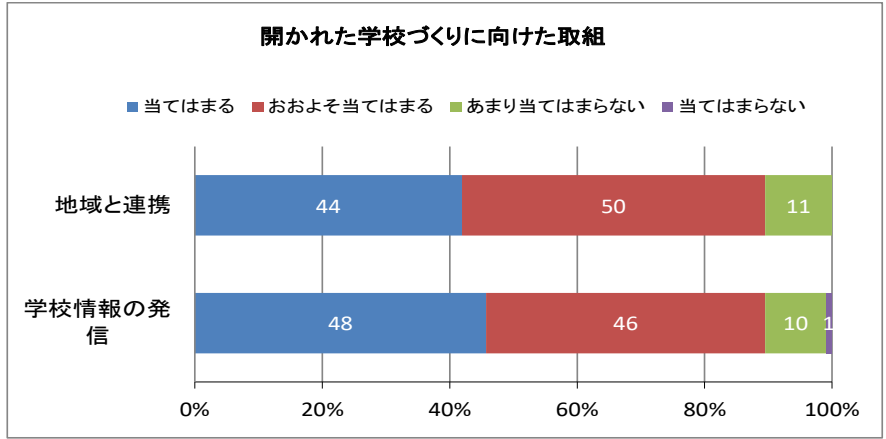




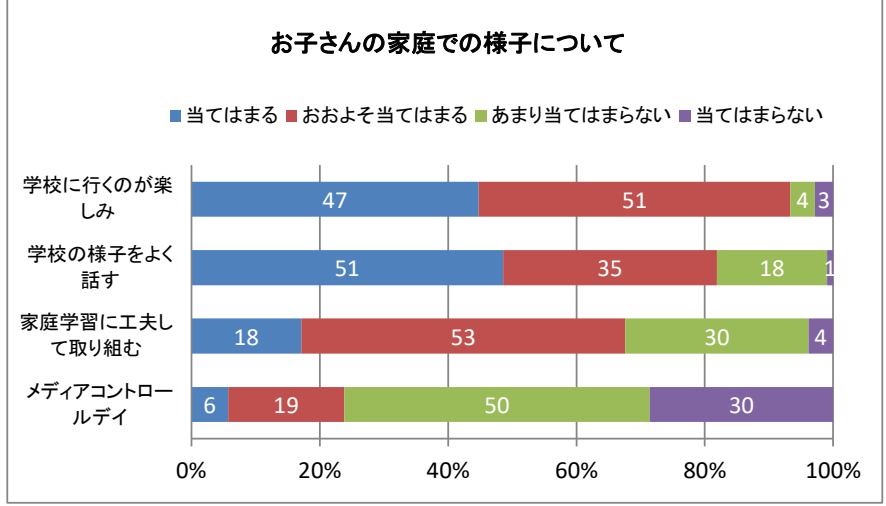
【安心できる居場所づくり】
 毎月実施している生活アンケートでいじめの早期発見に努めたり、スクール・カウンセラーやスクールソーシャルワーカー、心のケア支援員を活用して児童に必要な支援を行ったりしてきたことを評価いただきました。今後も一人一人の活躍の場を工夫したり、保護者との話し合いの場を設けたりしていきます。



【安全安心な学校づくり】
 多様な避難訓練や防災学習、交通安全教室などの取組に高い評価をいただきました。防犯パトロールや登下校時の見守りに多くの保護者や地域の皆様に御協力いただき感謝申し上げます。今後も感染症対策を徹底するとともに、施設・設備の点検や修繕を行いながら、児童の安全安心な学校生活を守っていきます。



【開かれた学校づくり】
 今年度はコロナ禍により保護者の方々に来校していただく機会を最小限にした分、HP、新聞やテレビ、ラジオ等のメディアを活用した情報発信に努めました。地域やNPOの方々の多くの出前講座や上品の郷での作品掲示などによって、子供たちの意欲が高まっています。



【お子さんの家庭での様子】
 学校に行くのが楽しみな児童が多いので、全員が楽しみだと言えるように、更に努力を続けます。学校生活の充実や友人、異学年との交流を大切にするとともに、授業とつながる家庭学習やメディアコントロールデイについて、より前向きに取り組めるように働き掛けを工夫していきたいと思います。

児童のよさについて

(要約・抜粋したものを載せています。)

「学年関係なく仲が良いところ」「素直で元気なところ」「上級生が下級生に対して面倒見が良い。」「友達を思いやる心」「挨拶をしっかりとできる子供が多い。」という御意見をたくさんいただきました。「イベントがあったとき、みんなで協力し、助け合うところ。」「高学年になってから自分で考えて行動して、良かった点、悪かった点について振り返りをしている。」「特に高学年のお子さんは、登校時や休みの日など、すれ違ったときに、地域の人にも元気よく挨拶をしてくれます。また、寒い日でも自転車で登下校するたくまさが素晴らしいと思っています。」「登校班では高学年が低学年を引率してグループで登校・下校していますが、自転車が不慣れな低学年のことを気に掛けながら通学している様子を見てとても感心したと同時に、安全・安心して学校に通学できていることに心が温かくなります。」という御意見もありました。挙げられたよさを生かしながら、更に成長できるように支援していきたいと思えます。

改善点について

(要約・抜粋したものを載せています。)

- 「地域の方たちや保護者に対して挨拶ができないことがあります。相手や場所に関わらず、元気に挨拶できるとよいと思います。」「学校では挨拶ができていますが、地区の方達や保護者に対して挨拶ができない子がいます。相手が誰でも挨拶ができるといいなと思います。」
⇒ 今後も自分から気持ちが伝わる挨拶ができるように工夫していきます。
- 「縦割り班の活動などをこれからも積極的に行うことで、全学年のまとめりや上下関係、思いやりの気持ちを伸ばせるように感じました。」「全学年1クラスは生徒の絆が深まると思いますが、どうしても閉鎖的になってしまうこともあるかと思えます。今はコロナ禍で難しいですが、他の学校との同学年同士の交流もあればもっと世界は広がりそうです。」
⇒ コロナウィルス感染予防対策を徹底しながら異学年交流を行い、他校との交流は検討していきます。
- 「今の学校目標を継続していただき、SDGsについての教育を強化することがこれからの世代に必要なだと思います。」「民間団体(NPOなど)、外部機関と協働して、体験型の学習や先生以外の大人と関わる経験をさせてほしいと思います。様々な大人と出会うことで、広い視野や考えに触れることができると子供たちの可能性を広げることができるかなと思います。」「これからも、たくさんの人に大谷地小学校の児童の取組やアイデアを発信してほしいです。」
⇒ 今後も多くの皆様の御協力をいただきながら、様々な経験を積み重ねていきたいと思えます。
- 「読書、書きぞめのようにみんなで取り組むことを運動や体力づくりになることでも取り入れてほしいです。例えば、朝に校庭をマラソンするなど、運動の機会がコロナで減っているので、体力づくりにつながると思えます。」
⇒ 体育の授業での運動量の確保、外遊びやめあてをもった運動などの継続によって体力づくりにつながられるよう工夫していきます。
- 「これまで培ってきた良い伝統を引き継ぎ継承していく持続力と「今」の子供たちに合った学習の仕方(リモート授業)の普及。」
⇒ 一人1台のタブレットの活用方法を工夫しながら、継続して指導していきます。
- 「良いところは褒め、注意が必要なときは本人の話を聞き、なぜいけないかを納得できるよう指導する。」
⇒ 児童の心に寄り添い、信頼関係を大切にしながら時期を逃さず適切に対応していきます。
- 「子供達のために先生方に親が協力する。」
⇒ これまで同様に、これからもよろしくお願い申し上げます。

御協力ありがとうございました。